

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	介護記録に介護計画にあげられるケア内容の実施記録が十分にされておらず、介護計画の見直し時の再アセスメントに活かしていない。	計画見直し時の再アセスメントに活かせるよう介護記録ケア内容の実施状況を記録する。	「なぜ介護記録が重要なのか」について勉強会を設け、介護計画と記録がつながるようにする。また、記録の方法についても学ぶ機会をもつ。	12ヶ月
2	13	介護計画の見直し時の再アセスメントと、ケア会議の記録が明確ではない。	担当者を中心にケア会議を実施する。会議では、利用者・家族の要望をもとに次回のケア計画について話し合い、内容を記録するとともに、議事録を作成し欠席者にも周知する。	6ヶ月ごとの介護計画の見直し時に、担当者を中心にケア会議またはケアカンファレンスをこない介護計画に反映する。議事録を作成し欠席者にも周知する。	12ヶ月
3	5	身体拘束の適正化に向けた研修会や勉強会、検討内容の記録、及び、資料のファイリング、欠席者への議事録の周知が不明確である。他の研修会、勉強会の記録・周知においても明確ではない。	勉強会・研修会、スタッフ会議などの実施内容を明確に議事録に残す。そして、欠席者への周知をおこなう。また、グループホームの必要研修項目について、全職員が理解し、伝達講習や資料などのファイリングを積極的にできるようにする。	グループホームの必要研修項目を全職員に伝えるとともに、伝達講習や勉強会の機会を設け、記録や資料の配布など行い周知し、スキルアップを目指す。	12ヶ月
4	14	受診について、個人別の記録がなく、継続した状況や経過を把握しにくい。	個人別受診記録表を作成し、受診経過を継続して把握できるようにする。	個別受診記録表の作成と記録の周知を行う。	6ヶ月
5	3	運営推進会議の議事録を欠席された委員・家族に配布しているが、誰でもが閲覧できるように公表の場がない。	運営推進会議の議事録を公表する。	玄関から入った場所に、閲覧できるように設置する。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。